

学び合い 地域へ力

川上塗装工業「社内大学」始まる

盛岡

盛岡市三ツ割の建築塗装業川上塗装工業（川上秀郎社長）の新たな社員研修「社内大学・たのしむユニバーシティ」は14日、同市上田の市産学官連携研究センター・コラボMIUで始まった。外部講師を招いた多様なテーマの講義を社員だけでなく一般住民や他企業にも開放し、地域を明るくする「学びや」を目指す。

同日は社員10人を含め計20人が参加。同市の経営コンサルタント山口敏さん（51）が講師となり、外的要因も踏まえて目標達成につなげる「SWOT（スウォット）分析」を説明。参加

者は性格や長所、働き方などを紙に書いて分析し、自



SWOT分析に取り組み、自らの性格や長所短所を掘り下げる参加者

分と会社目線で課題や改善点を探った。

同社の新入社員宮野光さん（18）は「働きながら勉強できる場をつくってもらった。自分の視野を広げるために役立てたい」と気を引

き締め、同市肴町のデザイナー佐藤集さん（41）は「一人で仕事をしていると研修などで自分を客観視する機会が少ない。今後も継続して参加し、アンテナを広げたい」と感謝した。

今後は2カ月に1回のペースで開催。内容は「最近の若者への接し方」「決算書の見方」など。参加費は500円。問い合わせ、参加申し込みは同社（019・601・4014）へ。

体感ふるさと

③

2020年東京五輪で正式種目に採用されるスポーツクライミング。盛岡市では、伊藤ふたば選手（松園中）が1月のボルダリングジャパンプで史上最年少優勝を果たし、注目が高まっている。約100人が楽しむ同市上鹿妻のクライミングスポット・ワナムーブで魅力の一端に触れた。

ライミング

頭と体駆使

